



# 市立三次中央病院 患者支援センターだより



令和3年8月発行

## コロナ禍での退院調整どうしてる？

令和2年初頭より全国的なコロナウィルス感染拡大により、当院においても感染対策のため面会が制限され、その後面会禁止となりました。そのためご家族やケアマネージャー等は退院調整のために患者さんとの面会ができなくなりました。患者さんの実際の様子を見られない分、看護師からの話だけではイメージが付きにくく、自宅に帰れるのか、施設なのか、患者さんの思いにも反する調整となったこともありました。



そこで、現在は感染対策をとりながら、退院前カンファレンスで、ご家族、ケアマネージャー、訪問看護師等関係者に集まっていただき、患者さんのADLを共有するため、リハビリしている様子の動画を見て頂いたり、患者さんとWeb面談で直接お話していただいて患者さん、ご家族の思いが一つになるよう取り組んでいます。

コロナ禍における退院調整のあり方を地域の医療・介護・福祉の方々と連携できるようオンライン面談等を活用しながら、患者さんやご家族が望まれる場所へ安心して退院していただけるよう取り組んでいます。

ご活用の際は、患者支援室までご連絡ください。

## ～4月からの新スタッフ紹介～



前職は福祉施設で保育士をしておりました。初めての病院勤務で毎日緊張しておりますが、患者さんやご家族に頼りにしていただけるスタッフを目指してがんばります。よろしくお願いいたします。

社会福祉士 まんどう まり  
萬燈 満里



市立三次中央病院  
患者支援センター

〒728-8502 広島県三次市東酒屋町 10531 番地  
TEL 0824-65-0239 (予約) FAX 0824-65-0159  
TEL 0824-48-0086 (相談、入退院支援、退院・転院調整)

# コロナ禍の家族の絆を支援 ～あるオンライン面会の一場面より～

がん化学療法のため、正月明けから入院されていた A さん。遠方（関東地方）に居られる娘さん一家の協力があり、3月に一時自宅退院ができました。5月連休にも一時退院に向けて準備をしていた時、腫瘍の増大に伴い気管切開が必要になりましたが、吸引手技の難しさで退院が困難となり、その期間娘さんには毎日面会に来ていただきました。

6月に A さんの状態がますます厳しい状況となったため、オンライン面会を計画しました。気管切開のため発声ができないので、15分という短い時間の中で思いを伝えるため、予め受け持ち看護師が A さんに、娘さん達へ伝えたいことを尋ねて、紙面に起こしました。娘さん達への感謝、してあげたかったこと、伝えたいことについてなど書かれた紙面を、画面を通して娘さん達へ伝える事ができました。娘さんも涙を流しながら A さんへの感謝の言葉を伝えら



iPad を使ったオンライン面会

れました。画面に向かって手を振り、お孫さんと会話もできました。娘さんとお孫さんへ言葉のプレゼントとして「人をみたら、優しさのかたまりにみえます」とボードに書かれ、思いを伝えられました。その5日後、次回の面会予定を待たずに静かに旅立たれましたが、オンライン面会をされたことでお互いの思いを伝え合うことができました。A さんの言葉を書いた用紙は、娘さんにお渡しし、A さんからの最高の贈り物となりました。



このようにオンライン面会があることによって、画面越しの面会ではありますが、病院と地域（ご家族）との橋渡しをさせていただいています。今後も少しでも患者様とご家族とのつながりを保っていただけるよう努めてまいります。

※ オンライン面会を希望される方は、ホームページにて詳細をご覧ください、ご相談ください。

## 放射線治療の一時休止のお知らせ

今年度、当院では放射線治療装置(リニアック)の更新を予定しております。そのため、装置入れ替え等の時期に、放射線治療を一時休止させていただきます。放射線治療紹介患者様の受付休止期間は症例により異なりますが、概ね9月下旬から令和4年3月末日までとなります。

受付休止期間中は、連携する近隣の放射線治療施設をご紹介させていただきます。

詳細については、当院放射線治療科までお問い合わせください。患者様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

- 放射線治療紹介患者様の受付休止：令和3年9月下旬～令和4年3月末日
- 放射線治療紹介患者様の受付および治療再開：令和4年4月(予定)

放射線治療科

